



## R8年度「第1回 一側性難聴のつどい」がありました。

今年度も、8月末に「一側性難聴のつどい」を行いました。本校では、一側性難聴児とその保護者や支援者のサポートも行っています。近年、新生児聴覚スクリーニング検査で一側性難聴の可能性が出産直後から分かるようになり、それにともなって乳幼児教育相談へ相談をしたり乳児期から補聴器の装用をしたりするケースが増えてきました。片方のきこえは正常でも、もう片方は「きこえにくい」。診断されると、保護者の不安は募りますし、本人のきこえへのサポートも必要です。そうした理解や配慮の必要性が医療や福祉にも広がってきて、徐々に本校への一側性難聴についての相談が増えています。

「一側性難聴の仲間とつながりたい」「一側性難聴のことを知ってサポートしたい」…このような思いをもった御家族や支援者の方が、一年を通して聾学校に来校されています。今回は、8月の「一側性難聴のつどい」の様子を御紹介します。

## 【R8.8.26 第1回 一側性難聴のつどいの様子】

## 【年中～小学生グループ】「耳クイズ」

自分やきょうだいのきこえ、補聴器のことについて話をしました。自分と同じきこえ方の友達がいることを知る大事な時間です。

鹿児島県こども総合療育センター  
言語聴覚士 末永靖子先生による講演

一側性難聴や子供の発達に即した関わりについてのお話をしていただきました。



※個人情報保護のため、写真を加工しています。

## 【末永先生の講演会より（一部抜粋）】

## 「一側性難聴の困りについて」

- 「雑音下での聞きもらし」  
→ガヤガヤした教室では聞き取りが難しくなる。
- 「グループ学習への対応の難しさ」  
→複数人の同時発言や難聴耳側からの発言は聞き取りができないことがある。
- 「聴覚疲労」  
→聞くことに集中するので疲れやすい。

## 体育・校庭・移動教室での困りごと

- 「音の聞こえる方向が特定できない」  
→どこから音がするのか分からずキョロキョロする。
- 「広がる場所での指示が届きにくい」  
→体育館や運動場では音が拡散し、集合の合図や注意事項を聞き逃しやすくなります。
- 「安全確認の遅れに配慮が必要」  
→後ろや難聴耳側から近付く人やボールに気付きにくいので周囲のフォローが必要です。

## 必要な配慮

- 聞こえやすい方や正面から話し掛ける。（遠方からではなくなるべく近くで話す。）
- 注意を引いてから話し始める。（見ていることを確認してから話す。）
- 周囲の騒音をできるだけ減らす。（グループ学習や集団学習では配慮が必要。）

## 【参加者アンケートより（一部抜粋、原文ママ）】

### 《保護者・支援者》

- 様々な困りごとを教えていただき、関わりを今までより気を付けていきたいと感じることだった。
- 今まで感じていた不安がこの一度の機会ですごく気が楽になりました。
- 生活における困り事など幅広く話をきくことができて深い学びとなりました。
- 先輩方の話も聞かせてもらえてとてもよかった。
- 日常生活を送っていると子供のきこえのことを忘れてしまいがちですが、困っていることや気に掛けてあげるいい機会になっています。
- 困りごとがわかりづらいので、話をきけて「なるほど!」「そうなんだ」「気を付けよう」と思えた。

### 《年中～小学生グループ》（聞き取りも含みます）

- みんなの話が楽しかった。
- 最初は緊張したけど、だんだんよくなって最後は楽しかったです。
- 名前とか学校の場所とか好きなものをいうとき、ドキドキしたけど言えました。みんなも緊張していたけど言えていました。
- お話しするのが楽しかった。友達の話聞くのも楽しかった。
- 恥ずかしかったけどおもしろかった。「お耳クイズ」がおもしろかった。

子どもたちは一年に1、2回と会う機会は少ないのですが、参加を重ねるごとに打ち解けるまでの時間が短くなり、笑顔や笑い声があふれるとてもにぎやかな会になりました。帰る前には、親子同士で、「また会おうね」と言葉を交わす様子も見られ、この会の意義を実感することができました。

★一側性難聴の子供さんや保護者の皆さん、一側性難聴児を支援する方など大人も子供もつながって、学んで楽しい時間を過ごせる「一側性難聴のつどい」にぜひ一度いらしてください。2回目以降の計画は以下のとおりになります。お問い合わせや参加予約は、「鹿児島聾学校聴覚相談センター」までお願いします。

### 【期 日・内 容】

第2回 2月16日（水） ・一側性難聴児の交流  
・一側性難聴の成人の方の話  
（言語聴覚士 下荒研翔さん）  
・保護者懇談会

第3回 2月24日（水） ・一側性難聴児の交流  
・学習会と懇談会

【時 間】 10:00～12:00

【場 所】 鹿児島聾学校 幼稚部プレイルーム

【参加費】 乳幼児教育相談もも組以外の方 年間500円  
（通信費、写真代、おやつ代等）

お待ちして  
います！



## 鹿児島県立鹿児島聾学校

代表 TEL 099-228-2200 FAX 099-228-2211

聴覚相談センター（角すみ）

【直通】 TEL 099-228-2300 FAX 099-228-2311

お気軽に御相談ください😊

★ 相談は無料です。

★ 相談内容に関する秘密は厳守します。

★ 全ての支援事業は聾学校への就学を勧めるものではありません。